

私の 随想録



今回のライター

渡辺 一俊さん

— Katsutoshi (稲沢)
Watanabe —



先日ばあちゃんの卒寿祝いをしました。子ども4人、孫27人、ひ孫18人が集合しました。



「絆」

私には、ばあちゃんが2人居ます。郡山を拠点に仕事をしているため、なかなか時間が作れずばあちゃん孝行ができていません。

この夏も猛暑だったり大雨だったり心配なことが多々ありましたが、連絡してみると近くのばあちゃんたちが様子を見に来てくれたりしていました。本当にありがたいことです。

最近、腰痛が酷いらしく畑も思うようにできなくなっています。でも気付くと畑が綺麗に仕上がっています。ばあちゃんに聞いてみると、やはり近くのばあちゃんたちに手伝ってもらったとのことでした。いつも感謝の気持ちでいっぱいです。

自分の周りで果たしてこんな関係を築けるかと思うと自信がありません。じいちゃんに生前、「みんなにお世話になっているんだから会った時はちゃんとお礼を言うように」と常に言われていました。それと、「何かあった時はまず近

くの先輩方に相談してみよう」とも言われていました。今考えると、地域の皆さんとの絆が強くないと言えない言葉だと思っています。

困った時、素直に助けると言える人がいるか。逆に助けてくれる人がいるか。長年築いてきた信頼関係があるからこそ言えるんだと思います。そんな絆が築ける様に、私も先輩方にお世話になりながらできる事をお手伝いして行こうと思います。

あと、2人の大好きなばあちゃんに長生きしてもらって、おいしい野菜を作ってもらえるように、これからもばあちゃん孝行をしていきたいと思っています。

ばあちゃんいつもありがとう。近くのばあちゃんたちもいつもありがとうございます。

12月号は
私が書きます！



次回は
浦井楓さん(本宮)です

福祉まんが つむぐこころ おりなすはなし

第3話

原案：あだち地方地域自立支援協議会 生活支援部会

絵：国際アート&デザイン専門学校 マンガクリエイト科 武田春香/齋藤幸佑

～精神障がいのある人に出会ったら～



生活支援部会 鈴木 長司さん

「精神障がい」は、心の病気とそれによる様々な場面での「生活のしづらさ」を抱える障がい者です。現在2人に1人は、過去1カ月の間にストレスを感じ

る経験をしており、生涯を通じて5人に1人は心の病気にかかると言われていています。症状は、色々ありますが、疲れやすかったり、緊張が強過ぎて要領よく行動することや広く注意や関心を向けることが苦手であったり、人づきあいが上手くないかなかったりします。こ

のように特別な病気ではなく、適切な治療を受け、服薬によって症状をコントロールできます。 不正確な報道や情報などから誤った先入観を持ってしまいがちですが、誰もが自分の暮らしている地域で、共に相手を認め合い、共に寄り添いながら、共に自然に生きていける街にしていきたいです。

※障がいは多種多様であり、同じ障がいでも一人一人状態が違います。このマンガの内容は一例です。

あだち地方地域自立支援協議会とは？

本宮市・二本松市・大玉村の2市1村で構成され、地域の障がい福祉に関わる関係者の連携や支援体制などについて協議を行う会です。



問 社会福祉課 社会福祉係 ☎ 24-5371

